



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2015.6

No.374

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



探鳥地案内 羽生市・羽生水郷公園

～平日探鳥会のすすめ～

相原 修一(鴻巣市)

No.	探鳥会(2002～) 回数と出現種	1～2月 9回	5～6月 4回	11月 8回
1	キジ	3	3	3
2	オシドリ	3		2
3	オカヨシガモ	1		3
4	ヨシガモ	6		5
5	ヒドリガモ			6
6	マガモ	9		8
7	カルガモ	9	4	8
8	ハシビロガモ	4		4
9	オナガガモ	6		6
10	コガモ	9		8
11	ホシハジロ	1		2
12	キンクロハジロ			3
13	ミコアイサ	1		
14	カイツブリ	9	3	8
15	ハジロカイツブリ			1
16	キジバト	9	4	8
17	シラコバト	2	1	
18	カワウ	9	4	8
19	ヨシゴイ			1
20	コイサギ	2	3	
21	アオサギ	9	2	8
22	ダイサギ	7	3	8
23	チュウサギ		2	
24	コサギ	4	2	2
25	クイナ	4		2
26	バン	9	1	8
27	オオバン	8		8
28	ツバメ			1
29	カマド		1	
30	ヨタカ			1
31	タビ	2		
32	コチドリ		4	
33	タシギ	1		1
34	チュウシャクシギ		1	
35	クサシギ	2		
36	ハシシギ	1		2
37	セグロカモメ	1		
38	コアジサシ		2	
39	アジサシ		1	
40	ミサゴ			1
41	トビ	6		6
42	チュウビ	2		1
43	ハイタカ			1
44	オオタカ	5	1	5
45	フスリ	7		6
46	トラフズク	1		
47	カワセミ	8		6
48	アリスイ	3		
49	コゲラ	3	2	5
50	アカゲラ	2		1
51	チョウゲンボウ	3		3
52	コチョウゲンボウ	2		
53	ハヤブサ			1
54	モズ	9	2	8
55	カケス	3		1
56	オナガ	2	1	1
57	ミヤマガラス	2		3
58	ハシボンガラス	9	4	8
59	ハシブトガラス	7	4	8
60	ヤマガラス	2		1
61	シジュウカラ	7		7
62	ヒバリ	9	4	8
63	ツバメ		4	
64	ヒヨドリ	9	2	8
65	ウグイス	7		7
66	メジロ	6		6
67	オオヨシキリ		4	
68	セッカ	1	3	2
69	ムクドリ	9	4	8
70	シロハラ	2		
71	ツグミ	9		4
72	シヨウビタキ	8		7
73	スズメ	9	4	8
74	キセキレイ	2		3
75	ハクセキレイ	9	3	8
76	セグロセキレイ	6		7
77	タヒバリ	3		1
78	カワラヒワ	9	4	8
79	ベニマシコ	8		3
80	シメ	9		6
81	ホオジロ	9	3	8
82	ホオアカ	1		
83	カシラダカ	9		3
84	アオシ	8		8
85	シベリアアジユリン	1		
86	オオアジユリン	8		5
※	トノサ	3		3
	平均種数	40.6	22.5	39.5

羽生水郷公園は、三田ヶ谷池を中心に周囲に水濠がめぐらされた公園です。入口の南にはムジナモ自生地と林があり、木道のある宝蔵寺沼の南側から水濠沿いはアシ原、周囲は芝生広場、北西は森と変化に富んだ環境です。

1. なぜ平日探鳥会？

ここでの探鳥会は2002年に始まり2006年迄は休日に行われていました。ところが路線バスの廃止により一時中断されました。2010年から羽生市営バスの運行により探鳥会も再開できました。但しバスは平日のみ運行、やむなく平日探鳥会となったのです。

平日探鳥会の良い点は、①休日は家族連れで賑う公園も静かで人影はまばら、歩行者など周囲へ迷惑をかけることが少なく安心して野鳥観察に集中できます。道路や駐車場も余裕あり。②平日は家族サービスやお子様お孫さんの子守から解放された自由な時間です。反面、若い人が非常に少なくリタイアした方が多いため幅広い年齢層との交流は望めませんのであしからず。この平日探鳥会も定着し、2013年からは羽生水郷公園管理事務所との共催となり、回数も年間2回から3回に増え、現在に至っています。

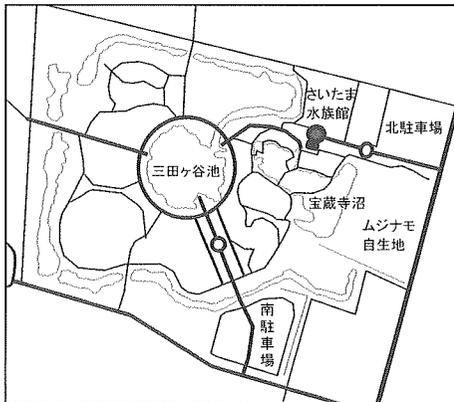
2. どんな鳥がいるの？

●厳冬の公園(1～2月)開催9回で平均40.6種

何と言っても目玉はヨシガモ。これを目当てに参加する常連さんが多いのです。オスの綺麗なナポレオンハットを堪能しましょう。湿地のアシ原ではオオジュリン、ウグイス、ベニマシコ、カシラダカなどの小鳥をはじめ、シベリアジュリンやアリスイも観察されました。広場ではホオジロの多さが目立ちます。

その一方でアカハラ、シロハラ、ルリビタキはなぜか殆ど見られません。上空ではノスリやオオタカが舞い、稀にコチョウゲンボウ

「羽生水郷公園管理事務所」様から



も現れ、トラフズクが観察されたこともあります。

●初夏の公園（5～6月）開催4回で平均22.5種

この2年程は雨天中止や、小雨決行したものの本降りと、雨に祟られています、芝生広場では多数のヒバリが見られます。

コチドリ、コアジサシも子育て中、池では親鳥が一所懸命にエサをとる姿が見られます。セッカ、オオヨシキリ、カッコウが競うように鳴き、時々姿も見せてくれます。残念ながら2003年6月以降シラコバトは観察されていません。

●晩秋の公園(11月)開催8回で平均39.5種
冬鳥到来の季節です。目玉のヨシガモは2006年以前は稀に観察されていましたが、2010年以降は毎年数十羽がやって来ます。

この時期はエクリプス、換羽途中、綺麗な繁殖羽と、比較観察できる良い機会です。マガモ、カルガモ、コガモの中に混じる他のカモを探すのも楽しいですね。林では鳴いているアカゲラを探しましょう。3年前は湿地の柳にヨタカがとまっていました。抜けるまでの一週間ほどは遠方からの方も含め多くのバーダーで賑ったとのこと。

3. 探鳥会の後は・・・

鳥合わせの後は持参したお弁当を食べながら雑談タイム。面白い話が聞けるかも。昼食後は渡良瀬遊水地や群馬の多々良沼に行く人も多いですが、お勧めは車で10分程の浮野の里です。1月頃は付近でコクマルガラスも混じったミヤマガラスの数百羽の群れが良く見

羽生水郷公園は、国内で唯一の「ムジナモ（食虫植物）の自生地」を含んだ公園で、東北自動車道羽生ICのすぐ東側に位置します。

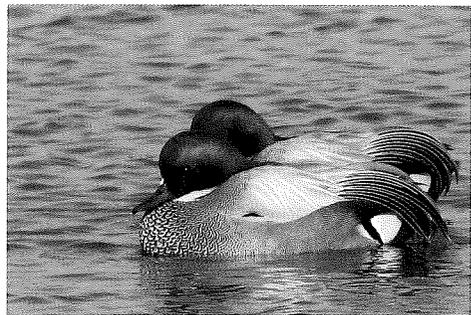
多くの水鳥たちが集う修景池や水生植物園などが整備され、生物と自然をテーマにした自然豊かな公園です。公園内には、大型遊具等も設置され、広大な芝生広場では、毎年11月に「ゆるキャラさみっと in 羽生」も開催されています。3月から11月までは、カヌー体験、レンタサイクル、バーベキューも楽しむことができ、子どもから大人まで楽しめる公園となっています。

また公園内には、埼玉県に生息する約70種の淡水魚を中心に、国の天然記念物ミヤコタナゴや埼玉県の魚ムサシトミヨなど貴重な魚を展示している「さいたま水族館」もあります。

普段見ることのできない水族館のバックヤードを見学できる水族館ツアーやエサやり体験など、多くのイベントが随時開催されています。

られ、4月頃はノウルシの群生が綺麗です。小鳥たちや猛禽も良く見られ、周囲には江戸時代の田堀があるなど、のどかな田園地帯を歩くのも気持ちが良いものです。

平日の公園はとても静かです。小鳥たちも安心しているのかゆっくりと観察するのに適しています。なお、今月**6月18日(木)**に当地での**探鳥会**が予定されています。詳細は8-9ページの行事案内をご覧ください。たくさんの方の参加をお待ちしています。



ヨシガモ (Y.E.)

2015年冬 カモ科カウント調査結果 日本野鳥の会埼玉 研究部

今回の調査は2015年1月10日～1月18日の間に、県内68ヶ所で行われました。この調査で17種(ハクチョウ科1種、カモ科16種)、12,203羽が記録されました。昨年よりも822羽少なく、2年続けての減少となりました。珍しい種類として渡良瀬遊水地でツクシガモ1羽が記録されました。カワウは37ヶ所で1,413羽、昨年の827羽に比べ1.7倍増加しました。カモ類への給餌が行われていたのは昨年と同じ7ヶ所でした。いずれも来園者や近隣の住民による不定期な給餌でした。

昨年と今年の結果を種類ごとに比較してみました。もともと飛来数が少ないオシドリ、トモエガモ、ホオジロガモ、カワアイサは、昨年の半数程度しかカウントされませんでした。とは言えトモエガモが2年連続で2けたを記録したのは近年にない記録です。これ以上減らないでほしいものです。一方、コハクチョウ、ミコアイサは昨年の2倍以上に増えました。

興味深いのは赤堀遊水池(桶川市)の結果です。昨年は太陽光発電パネル設置工事のた

調査地(河川)	コハク チョウ	ツクシ ガモ	オシ ドリ	オカ ヨシ ガモ	ヨシ ガモ	ヒドリ ガモ	マガ モ	カル ガモ	ハシ ビロ ガモ	オナ ガガ モ	トモ エガ モ	コガ モ	ホシ ハジ ロ	キン クロ ハジ ロ	ホオ ジロ ガモ	ミコ アイ サ	カワ アイ サ	カモ 不 明 種	カモ 科 個 体 数	カモ 科 種 類 数	カワ ウ																			
入間川 豊水橋～新富士見橋(狭山市)				7		3	7	2				40							59	5	2																			
越辺川 八幡岡地前(川島町)	135										88								223	2	2																			
荒川	荒川鉄橋～戸田橋(川口・戸田市)					15		9									41		81	4																				
	彩湖(戸田市)			2	27	9	10		2			14	65	124					253	8	87																			
	南郷排水機場・びん沼川(西区・富士見市)					4	16	43	25			40							128	5	11																			
	明戸塚(白鳥飛来地)(深谷市)	6													24				30	2																				
	玉淀河原(川の博物館付近)(寄居町)						5	9				1							15	3	2																			
玉淀ダム(寄居町)			4				16	13		46	21							100	5	14																				
鴨川 鴨川排水機場(桜区)							12					25							37	2	1																			
元荒川	今宮橋～八幡橋～清掃局(蓮田市)					47	6	95				137	7						292	5	3																			
	東北本線鉄橋～県道3号線(蓮田市)							13				16							29	2																				
	城北大橋～水管橋(岩槻区)					95		50				94							239	2	1																			
	末田堰(岩槻区)											16							16	1																				
古利根川	寿橋～堂面橋(越谷市・松伏町)						12	5				4							21	3																				
	古利根橋～藤塚橋							2											2	1	1																			
	東武野田線鉄橋～藤塚橋					74		62				78							214	3	1																			
利根川 坂東大橋下流(本庄市)			2			73				38	171	1			3	2		290	7	18																				
新河岸川	川崎橋～田島橋(川崎市)			14		185	20	106	2			74	2						403	7	2																			
	川崎橋～第二新河岸橋(ふじみ野市)			20	5	92	68	23	4			33							245	7																				
柳瀬川	富士見橋～栄橋(志木・富士見市)					23	1	26	5			83							138	5	1																			
	石橋～県道2号線(北・見沼区)					1		9	2			13							25	4																				
	松山橋～大道橋(大宮・見沼・緑区)				17	4	8		10	17		95	4						155	7	4																			
	合併記念見沼公園の池(大宮区)								29			26	3						58	3																				
	大道橋～新宿橋(見沼・緑区)								8			30							38	2																				
	新宿橋～八丁堰(緑区・川口市)							2	54			87							143	3	1																			
	八丁橋～青木橋水門(川口市)					1	1	8		17		52	1						80	6	8																			
青木橋水門～芝川水門(川口市)				3		90		10			3	2						108	5	1																				
加田屋川	七里総合公園～加田屋橋(見沼区)							11	2			12							25	3	2																			
	加田屋橋～県道214号線(見沼区)						2	11											13	2																				
	七里総合公園～締切橋(見沼区)						1	77											78	2																				
見沼 代用水 東線	締切橋～国昌寺橋(緑区)							31											31	1																				
	国昌寺橋～国道463号線(緑区)																		0																					
	国道463号線～山口橋(緑区・川口市)							42											42	1																				
	さき山記念公園の池(緑区)							6											6	1																				
見沼 代用水 西線	県道214号線～山中橋(大宮・浦和・緑区)							34											34	1																				
	山中橋～馬場橋(緑区)							18											18	1																				
	馬場橋～附島橋(緑区)							27											27	1																				
練湖川	伝右川調整池(緑区)					20	5	45				41							110	10																				
	武蔵野線鉄橋～新栄団地(川口・越谷・草加市)	0																	111	4	5																			
種類別合計																					141	0	4	65	36	667	257	888	54	194	0	1206	81	144	24	3	2	51	3817	167

め前年(2013年)よりも大きく減少しました。パネル設置後の今年、個体数は2013年のレベルに回復しました。太陽光発電パネルはカモたちに受け入れられたのでしょうか? 今後注目していきたいポイントです。

今回の調査は以下の48名の方にご協力いただきました。この場でお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。厳しい寒さの中で、お疲れさまでした。今後とも、ご協力よろしくお願い申し上げます。

<調査協力者> (敬称略) 相原修一、相原友江、浅見健一、浅見徹、新井巖、石井智、

石川敏男、石塚敬二郎、榎本秀和、海老原教子、大井智弘、大井はるえ、大坂幸男、工藤洋三、倉崎哲郎、小池一男、小池順子、小荷田行男、小林ますみ、小林茂、小林洋一、小林みどり、駒崎政雄、佐久間博文、佐野和弘、佐藤宏、柴野耕一郎、鈴木秀治、中間清美、高橋典子、田邊八州雄、千島康幸、手塚正義、長嶋宏之、長野誠治、中村治、中村豊己、野口修、長谷部健二、畠山孝、菱沼一充、藤掛保司、藤掛宮子、藤澤洋子、山口芳邦、山部直喜、吉原俊雄、吉原早苗

(研究部 小林みどり)

調査地(湖沼)	コハクテヨウ	ツクシガモ	オシドリ	オカヨシガモ	ヨシガモ	ヒドリガモ	マガモ	カルガモ	ハンビロガモ	オナガガモ	トモエガモ	コガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ	カモ不明種	カモ科個体数	カモ科種類数	カワウ
朝霞調節池(朝霞市)													8						8	1	0
秋ヶ瀬公園の池(桜区)							8	26	6			5							45	4	
狭山湖(所沢市)				2			214	4		1	106	2		2					331	7	28
川越水上公園の池(川越市)						51	4	85				11							151	4	
小畔水鳥の郷公園(川越市)						27	8	34	1			49							119	5	10
伊佐沼(川越市)						28	1	272	2			142	3	1		2			451	8	92
武蔵丘陵森林公園・山田大沼(滑川町)							82	4				131	5						222	4	353
大沼(吉見町)						6	46	35				3							90	4	2
八丁湖(吉見町)							285	1				17	1	49					353	5	2
大沼公園・大沼(熊谷市)						26		23	1	118		25							193	5	1
県立農林公園・芳沼(深谷市)																			0		
久喜菖蒲公園・昭和沼(久喜市)					13	1	77	302		36	1	16	10	75					531	9	16
さきたま古墳公園の池(行田市)								25											25	1	
行田浄水場(行田市)						5	1043	112	8	275		31	23				15		1512	7	1
白幡沼(南区)								4	2										6	2	
見沼自然公園(緑区)				16		17		35	81		37		1						187	6	
大宮公園(大宮区)								5	9				34						48	3	
大宮第三公園(大宮区)					8			9				6							23	3	
滝沼川遊水池(西区)								17											17	1	
深作遊水池(見沼区)				11			14	14	1			114							154	5	1
そうか公園の池(草加市)						105		12	31	34		2							184	2	2
大相模調節池(越谷市)							12	32	3	2		67	2						118	6	5
大吉調節池(越谷市)						44	12	8				2							66	4	2
緑の丘公園の池(松伏町)							72					20				6			98	3	2
大池親水公園(春日部市)								1				11	55						67	3	
渡良瀬遊水池(加須市)		1		13		138	722	454		1	14	12				125	6	979	2465	10	712
加須はなさき公園の池(加須市)						45	1	120				33							199	4	
宝蔵寺沼(羽生市)					2		22	179		7		38							248	5	2
赤堀遊水池(桶川市)						42	318					115							475	3	15
種類別合計	0	1	0	42	23	535	2941	1813	53	565	16	993	23	246	2	133	6	994	8386		1246

種類別総計	141	1	4	107	59	1202	3198	2701	107	759	16	2199	104	390	26	136	8	1045	12203		1413
2014年種類別総計	55	0	8	136	67	1638	2585	2897	100	876	23	2718	82	522	43	61	12	1202	13025		827
増減比(2015/2014)	2.6	0.5	0.8	0.9	0.7	1.2	0.9	1.1	0.9	0.7	0.8	1.3	0.7	0.6	2.2	0.7	0.9	0.9			1.7



野鳥情報

春日部市大池親水公園 ◇2月2日午後5時15分、キンクロハジロ60羽士の群れの中に初めてスズガモ♂1羽を認めた。その後、2月3日、4日、14日、16日、19日も確認。3月31日午前11時20分、スズガモ♂1羽が約50羽のキンクロハジロの群れに混じって、なお、残留中（石川敏男）。

加須市中種足 ◇2月19日午前11時頃、水田にコハクチョウ21羽が降りていた。座り込んでいるのが何羽もいたが、北帰行中の休憩なのだろうか（森本國夫、森本陽子）。

戸田市道満グリーンパーク彩湖 ◇2月19日、カルガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ヨシガモ、コガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、オオバン、カワセミ、ジョウビタキ♀、ツグミ、モズ、シメ、カワウ、ウグイス、メジロなど（陶山和良）。◇2月28日、ウグイスが綺麗な声で囀っていた。まだ本格的な鳴き方とは言えず、細いような柔らかい声。5～6回鳴いてくれて、春を感じる日となった（海老原教子）。

川越市川越水上公園 N35. 9131 E139. 4476

◇2月21日、イカル100羽士の群れの中にコイカル♂1羽が行動を共にしていた。他にモズ、ツグミ、シメなど（長嶋宏之）。

行田市さきたま古墳公園N36. 1227 E139. 4784

◇2月21日、綺麗な個体の亜種ハチジョウツグミが地上で採餌したり、近くのケヤキの枝に飛び上がったたりしていた。他にオオタカ成鳥、アカゲラ、カケス、ツグミなど（長嶋宏之）。

毛呂山町新しき村 ◇2月25日午前9時45分、大愛堂近くの高木に止まっているヒレンジャク27羽。講会堂そばの大きな桜の枝で、花芽をついばむウソ♂3羽♀1羽。♂1羽は、胸から腹に赤味がある亜種アカウソ。田んぼに面した雑木林にイカル約10羽（増尾 隆）。

坂戸市浅羽ピオトープ ◇3月2日午前8時20分頃、河畔林から浅羽野橋たもとの水路

右岸の水際に降りて、水を飲むヒレンジャク17羽（増尾 隆）。

さいたま市緑区～川口市行衛 芝川第一調節

池 ◇3月3日正午頃、オシドリ♂3羽♀1羽、シマアジ♂1羽（栗原他1名）。◇3月8日午後2時すぎ、シマアジ♂、オシドリ夫婦、まだまだ元気なチュウヒ2羽、オオハクチョウ2羽。コハクチョウ3羽は、1週間前から行方不明。北に帰ったかな？（野口 修）。

加須市加須はなさき公園 ◇3月3日、アリスイ、アオゲラ、シロハラ、アカハラ、タシギ、カケス、エナガ、シメ。他にヒドリガモ、カルガモ、コガモ多数（長嶋宏之）。

久喜市久喜菖蒲公園 ◇3月15日、カンムリカイツブリ夏羽、アメリカヒドリ、ヨシガモ30羽士、トビ、ここで久しぶりにハシビロガモ♂3羽♀1羽、頭が黒くなりかけたオオジュリン、シメ、ジョウビタキなど（長嶋宏之）。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇3月6日、モズの♂♀が一緒に行動していた。3月7日、アオゲラがナラ林を飛びぬけた。3月8日、コサギが岸辺を歩いて採餌。ここでは珍しい。3月9日、ドバトの♂（ニビキ）と♀（ハイゴマ）が口接していた。3月12日、シロハラが落ち葉を掻き分けて餌さがし。3月17日、ウグイスの初音を聞いた。3月29日、ツバメ今季初認。4月12日、西沼をカワセミが盛んに飛び交う。造巢の準備に入ったようだ。屋敷林からウグイスのグゼリが聞こえるようになった。4月15日午前8時30分、ヒヨドリ20羽士が鳴きながら北に向かって飛んだ。午前9時30分、ヒヨドリ50羽士が同じく北に向かって飛んだ。渡りが始まったようだ。屋敷林からドラミング。久しぶりのアオゲラだった。4月17日午前8時30分、ヒヨドリ50羽士が北に向かって飛んだ。2羽のツバメが何度も繰り返し沼の面をタッチアンドゴー。4月21日、屋敷林からタカの声が響いた。サンバのようだ（長嶋宏之）。

鴻巣市大間 ◇3月15日、三丁目でウグイスの初音を聞く。でもまだへたくそ。3月23

日、二丁目の空を1羽のツバメがずっと飛ぶ。今季初認。3月27日、一丁目の住宅の植え込みにエナガが1羽。当地初認（榎本みち子）。

春日部市武里中野 ◇3月21日午後3時過ぎ、サッカーグラウンド上空を1羽のコチドリが鳴きながら大きく旋回後、グラウンド芝地に着地した。今季当地での初認。3月30日午前7時20分、田んぼの畔の枯草にホオアカのつがい。か細い「チツ」、「チツ」という鳴き声を発していた。地上で探餌するため、いてもなかなか気づきにくい。当地ではここ数年、越冬している（石川敏男）。

幸手市中川河川敷 ◇3月22日、宇和田公園沿いで電柱にとまっているシラコバト1羽。すると、もう1羽が接近し、先の1羽が飛び立つと同時に、あとの1羽もすぐに追って行った。つがいになろうとしているのだろうか。3月25日、ツバメ1羽。4月26日午後3時20分～5時20分、カワウ3羽、コガモ♂8羽♀8羽、カルガモ7羽、コチドリ2羽、イソシギ2羽、キジ♂1羽、シラコバト4羽、チョウゲンボウ♂1羽、ツバメ4羽、モズ2羽、ホオジロ4羽、セグロセキレイ1羽、ハクセキレイ2羽（荒川）。

さいたま市岩槻区新曲輪橋 ◇3月27日午後2時30分頃、ヒドリガモ約15羽、カルガモ、コガモ数羽、コチドリ2羽、オオジュリン数羽、アオジ、カワセミ、カイツブリ、セグロカモメ、セグロセキレイ各1羽。セグロセキレイはフライングキャッチを繰り返していた（菊川和男）。

越谷市健康福祉村 ◇4月4日午後12時頃、ユリカモメ多数（山下雅紀）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇4月6日、ヒレンジャクが1羽、キツタの実を食べていた。4月9日、色鮮やかなキビタキ♂1羽、水辺の枝で休憩中。今季初認（内田克二）。◇4月19日午前9時、ヒヨドリ30羽が東に向かって飛ぶ。テストコースの両側3ヵ所からアオジの囀りが聞こえてくる。気分は奥日光。林に入るとキビタキの声。近づくと囀りがはっきり聞こえてくる。高い所の枝で♂を見つけるが、木の葉が茂っ

てきていて、姿が見にくい。どうやら♂が2羽いるようで、時々追いかけあいをしていた。他にカケスの声、メジロの囀り、エナガなど（藤原寛治）。

JR鴻巣駅東口広場 ◇4月8日午後1時頃、みぞれが降りしきる中、2羽のアマツバメが15mほどの高さを飛びまわっていた（榎本秀和・みち子）。

所沢市山口 ◇4月10日午前10時頃、山口小学校上空をサシバ1羽が何回か旋回した後、東方向へ飛び去った（小林 茂・ますみ）。

さいたま市岩槻区岩槻城址公園 ◇4月11日午後2時頃、シジュウカラ、エナガ、コゲラの混群の中にオオルリ♂1羽。近くで小学生の女兒が野鳥観察していたので、そつと教えてあげる。初めてのオオルリ♂に青色が綺麗だと大喜びだった（菊川和男）。

狭山市入間川広瀬橋上流 ◇4月19日午前、ササゴイ、コチドリ、ノビタキ♂♀を今年初確認。すでにコチドリは「ピヨピヨ」と縄張り争い中。他にも夏鳥のツバメ、イワツバメも確認。冬鳥のオカヨシガモはすでに旅立ったようだが、コガモとツグミは多数残っていた。他にも最近行われている大規模な河川工事に負けず頑張っている、カワセミ、バン、オオバン、イカルチドリなど、水辺の鳥たちを確認（吉田 勉）。

比企郡吉見町八丁湖公園 ◇4月22日午前10時40分ごろ、さえずりを頼りに、今季初認となるキビタキ♂を1羽見つける。うれしかった（榎本秀和）。

春日部市谷原新田 ◇4月24日午前6時20分頃、オオヨシキリ。谷原親水広場に残留の枯れアシで盛んに「ギョギョシ…」を連発し、アオジを追い払っていた。当地の今季初認。昨夜のうちに飛来したのか（石川敏男）。

表紙の写真

スズメ目ヒタキ科ルリビタキ属ルリビタキ

昨年6月、10数年ぶりに富士山五合目に出かけた。ルリビタキを見ながら、10数年間で何世代交代しているのか、年月の流れを少し考えた。

蟹瀬武男（さいたま市）



行事案内



カルガモ

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：6月7日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、岡安、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：葉が茂り、なかなか鳥が見られない時季です。耳を澄ませて鳴き声を楽しみましょう。オオヨシキリ、ホトトギス、カッコウなど、夏鳥の歌を期待しています。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：6月7日（日）

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

担当：手塚、伊藤、赤堀、大井、須崎、野口(修)、若林

見どころ：芝川第一調節池周辺で夏を過ごす鳥たちを観察します。雨の季節が近いけれど爽やかなカッコウの音が聞こえれば最高ですね。

ご注意：途中トイレがありません。天候によってはコースを変更します。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：6月14日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居 8:50 発に乗車。

担当：新井、鶏飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：平地は鳥が少ない季節ですが、馴染みの鳥の雛たちに会いに行きましょう。探蝶も楽しめますよ。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：6月14日（日）

集合：午前8時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越7:20(準急)→坂戸で越生線乗り換え7:40発。または寄居6:44→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR埼京線大宮6:37→川越で東武東上線乗り換え。

担当：山口、久保田、志村、鈴木(秀)、高草木、藤掛、藤澤、増尾、持丸

見どころ：6月とはいえ、天気がよいとちょっと暑い高麗川探鳥会です。おなじみのカワセミやオオタカに会いに行きましょう。イカルチドリに再会できるかもしれませんね。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：6月18日（木）平日

集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。

交通：羽生市福祉バス手子林・三田ヶ谷ルート（ムジナもん号）東武伊勢崎線羽生駅東口8:05発または南羽生駅8:22発で、「羽生水郷公園・キャッセ羽生」下車。

共催：羽生水郷公園管理事務所

担当：相原（修）、相原（友）、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木

見どころ：雨の多い時期ですが、芝生広場では沢山のヒバリがみられ、親鳥がエサを探して飛び回っています。カッコウやオオヨシキリも来ているのでしょうか。

ご注意：帰りのバスの便は14:51発です。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：6月20日（土）午後3時～4時ころ

会場：会事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：6月21日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：柴野、青木、赤堀、浅見（健）、浅見（徹）、石塚、楠見、小菅、小林（み）、須崎、新部、畠山、増田

見どころ：梅雨の最中かな？ 雨で中止になることが多い時季ですが、晴れたら暑い！ 可愛い雛と一緒に家族連れに会えるとよいですね。

日本野鳥の会埼玉 総会のご案内

日時：6月28日（日）

午後1時00分 受付開始

午後1時30分～2時20分 記念講演

午後2時30分～4時00分 総会

会場：さいたま市民会館うらわ（さいたま市浦和区仲町2-10-22）4階402-403集会室（和室）

交通：JR京浜東北線浦和駅西口から県庁通りを西へ。埼玉会館手前右折。玉蔵院を通り抜けて約400m左側。徒歩約10分。

記念講演：公益財団法人日本野鳥の会普及室 安西英明主席研究員『フィールドガイド日本の野鳥』新たな改訂のポイント

総会議題：平成26年度事業報告と決算報告、平成27年度事業計画案と予算案、平成27年度役員を選出。

参加資格：会員であればどなたでも。

前年度の活動を振り返り、新年度の予算や方針を決める大切な総会です。多数の方のご参加をお待ちしています。

今の、ナニっ？ ある飛行生物との遭遇 榎本秀和（鴻巣市）

2014年11月5日、私は4日後に行なわれる探鳥会の下見のため、熊谷市大麻生の小径を歩いていた（注：当会の探鳥会は、担当リーダーが必ず事前の下見をしている）。

午前11時半、そろそろ帰ろうかというころ、背後から私の頭上を、ふいに何かフライパス。えっ！ と肉眼で姿を追うも、梢に遮られて見えなくなる。翼の感じから、私はとっさに小型のミズナギドリ類をイメージしていた。

確認しなければ…。とりあえず私は、木立に邪魔されない開けた場所で少し待ってみることにした。注意深く空を見渡すこと20分。その飛行生物が再び空を横切った。今度はスコープに捉えるも、それが何なのかよくわからないままロスト。

もう一度見たい…。さらに待つこと20分。

その生物がさっきより近くを旋回してくれたとき、私はやっと「これは鳥ではない」と気がついた。胴体から前方に伸びる翼の角度と形状から見て、コウモリということで自分なりに納得はしたのだが、しかし、こんな大きなコウモリ（私の感覚では、尾のないキジバト大）、埼玉にいる？

調べてみると、このコウモリは食虫性としては日本では最も大型というヤマコウモリと思われ、大麻生に生息していることは研究者の間ではよく知られているらしかった（なあ～んだ、知ってる人は知ってたんだ）。とはいえ、昼日中にその活動を目撃する機会はそう多くはないようだ。



行事報告

12月20日(土) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：33名 天気：曇

オカヨシガモ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン オオタカ ノスリ カワセミ コゲラ アオゲラ モズ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ジョウビタキ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ カワラヒワ ウソ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (38種) (番外：ガビチョウ) 今回は初めてとなる花木園から梅林に回る道を歩いてみた。歩き始めて間もなく、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラの混群に出会った。ホオジロのいるススキの原を過ぎると、前方の高木にカケス、ツグミの姿。今日はどうしたことかカケスが多かった。同じ方向にアオゲラの姿も見えた。遠くの枝に止まるノスリの姿も。梅林ではカシラダカ、ジョウビタキ。下見のときにはほとんど見る事のなかった鳥たちが次々出てくれた。まだ到着したばかりなのだろう、ツグミは木の上の方で群れていた。その後山田大沼に回り、カモを確認した。(中村豊己)

12月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：10名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、柴野耕一郎、志村佐治、吉原早苗、吉原俊雄

12月21日(日) さいたま市 三室地区

参加：65名 天気：曇

キジ オカヨシガモ ヒドリガモ カルガモ ハシブトガラス コガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギバン オオバン ユリカモメ オオタカ カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ アカハラ ツグミ

ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (41種) (番外：ドバト) 時々日が差す温かな日和。ホームページを見て東京から参加してくれた家族も交えて、のんびり鳥見。芝川の中州のアシの中にゴイサギの家族を発見。ホシゴイ 6羽に成鳥 1羽を橋の上からじっくり観察。ヨシガモみたいなオカヨシガモ(?)がいて、識別談議に花が咲いた。(浅見 徹)

12月23日(火、祝) 年末講演会

参加：64名 場所：浦和コミュニティセンター

年末恒例の講演会。第1部「映像で振り返るこの1年」では4名の会員の映像やスライドを鑑賞。第2部ではバードガイドの大谷力氏に『海外探鳥の楽しみ方』のテーマで講演していただいた。日本で珍鳥扱いされる鳥を本来の生息地で見る、その土地独自の鳥を見る楽しみなど、多角的な観点から、美しい映像や音声を変えて解説していただいた。これから日本で出現する可能性のある鳥の紹介や、東南アジアにおける加速する森林伐採による環境破壊の実態などの話も興味深く聞くことができた。(長野誠治)

12月28日(日) 幸手市 宇和田公園

参加：51名 天気：晴

キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト シラコバト カワウ アオサギ ダイサギ イカルチドリ タシギ トビ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ ミヤマガラス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン (37種) (番外：ドバト) 早々にお集まりいただいた方々と電線にとまるシラコバトを確認することができた。開始前だったが時間を繰り上げて記録とした(もしや反則・・・?)。コースを横切る圏央道の工事が終わったことから、今回は西行きとした。すぐに公園内でアカハラが見られたが、この後はツグミが目立つのみ。中川の土手へ出るとカシラダカやオオジュリン、そして遠くにミヤマガラスの群れも。2014年最後の探鳥会はお天気にも恵まれ無事終了した。(佐野和宏)

1月4日(日) さいたま市 さぎ山記念公園

参加: 62名 天気: 晴

キジ ヒドリガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ バン オオバン オオタカ ノスリ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ アトリ カワラヒワ ウソ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (38種) (番外: ドバト) はるばると関西圏からの参加者も! と言っても、埼玉に帰省していた母娘のお二人。久しぶりの挨拶をして歩き出せば、オオタカ2羽が晴れ渡った空を舞い、ノスリも出現。見沼自然公園では、アトリがお出迎え。池には氷がはり、カモ類は少なめ。サギ山記念公園に戻って、あでやかなキセキレイを堪能して終了。探鳥会解散後、希望者のみでささやかな野外懇親会。探鳥会はパスして、懇親会だけの参加者も。なぜか福島県郡山市関連の参加者が何人もいて、ひどくローカルな話題で盛り上がっていた。(海老原美夫)

1月10日(土) 戸田市 彩湖

参加: 48名 天気: 晴

ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ カイツブリ アカエリカイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン ユリカモメ セグロカモメ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ オナガ ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ (40種) (番外: ドバト) 管理橋近くで、カンムリカイツブリの群れの中にアカエリカイツブリ1羽発見! 「これのどこがアカエリなの?」という声があがったが、今は冬羽だから。カンムリカイツブリの純白の冬羽に比べると、いまいち見栄えがしないけれど、見くびるなかれ! 県内ではなかなか見られない鳥ですよ! さらにホオジロガモ♀1羽も登場、と言っても、すぐに潜る。潜る・出るの繰り返しに、みんなの表情も浮き沈み。橋を渡ったところでアカハラとシロハラ。“紅

白”揃って、なんとなくおめでたい感じ。しかし、だんだん風が強まってきて、小鳥類はゆっくり見られず、猛禽類は一部の方がチョウゲンボウを見ただけであった。カイツブリ類は4種確認。日本で見られるカイツブリ類5種のうち4種というのは、すごい!…かな? (小林みどり)

1月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 42名 天気: 晴

コジュケイ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ トビ ツミ ハイタカ オオタカ ノスリ コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ ビンズイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (36種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 晴れて風も無く歩きやすい。土手に上がると雪山は見えるが鳥が少ない。ツグミ、シメ、シジュウカラ、モズ♂が姿を見せてくれた。ゴルフ場横の道でアオジ、ジョウビタキ♀が採餌中。スズメが大きな群れを作っていた。河原にダイサギ、アオサギがいて、ハイタカが帆翔。ノスリが木にとまっていた。野鳥の森に入ると上空をオオタカが滑翔。カシラダカ、ビンズイがいて、池ではシロハラ、アカゲラが出てくれた。鳥合わせの最中に上空でツミにカラスがモビングしていた。(千島康幸)

1月11日(日) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加: 20名 天気: 快晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン イカルチドリ クサシギ オオタカ カワセミ チョウゲンボウ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ ホオジロ ホオアカ カシラダカ アオジ オオジュリン (35種) (番外: ドバト) この3年、公園の池が南半分結氷し、カモは日当たりのよい池の北端に集まり、遠距離の観察になってしまう。周辺の屋敷林では冬鳥が姿を現し、楽しませてくれたが、シラコバトの姿が最後まで見られなかったのは残念。(橋口長和)



● 関東ブロック協議会準備中

日本野鳥の会関東ブロック協議会は、所属している関東地区9団体が交代で、毎年度1回開催しています。今年度は当会埼玉担当の順番で、小林みどりを委員長とする実行委員会が準備を進めています。

10月31日(土)～11月1日(日)、川越市内の宿泊施設を予約し、年度変わり早々に関係団体に連絡しました。千葉県はジャパンバードフェスティバル、神奈川支部は下記シンポジウムと重なりますが、それぞれ出席者を調整中とのこと。

● 「多摩川河口干潟の自然を考えるシンポジウム 2015(仮称)」開催予定

本誌1月号でお知らせした多摩川河口干潟を守る活動の一環として、神奈川支部は10月31日(土)に川崎市内で開催する予定です。

● 会員の普及活動

4月15日(水)、さいたま市大宮第二公園でNPO法人国際自然大学校埼玉校専科コース開講式が開催され、小林みどりが講師として参加しました。受講者16名。式後、同公園で簡単な野鳥観察を行い、5月20日(水)には、北本自然観察公園で、第1回講座が開催されます。

● コウノトリ飛来情報の提供依頼

兵庫県豊岡市の市民グループNPO法人コウノトリ湿地ネットから、日本野鳥の会本部を通じて依頼が届きました。コウノトリの飛来が確認できたら、飛来飛去日時・地名と

環境・左右の足環の色などを、toshima8560@iris.eonet.ne.jp までご連絡くださいとのこと。当会埼玉へのご連絡もよろしく。

● 会員数は

5月1日現在1,758人。

活動と予定

● 4月の活動

4月11日(土)『しらこぼと』5月号校正(海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、長嶋宏之、藤掛保司)。

4月19日(日) 役員会(司会:山部直喜、新年度役員・その他)。

4月20日(月)『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』5月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

● 6月の予定

6月2日(火) 編集部会。

6月6日(土) 普及部会。

6月13日(土) 7月号校正(午後4時から)。

6月20日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

6月21日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

4月は香港からの来客が多かった。なんと4組。3組は対応できたが、1組は都合がつかず会わずに失礼した。1人はバーダーで、仲間にも応援してもらって案内。レンジャクやクロジなどの写真を撮ることができ、満足して帰ったようだ。円安で日本への旅行者が増えているのを身をもって知る。(山口)

本誌はB5版12ページで長年続いています。例えばA4版8ページにできないかなど、検討もしています。でも、B5版12ページの良さがあらためて確認できたりして、いろいろ難しいところです。(海)

しらこぼと 2015年6月号(第374号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4

丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル

(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社